

4-4

養護老人ホームでの介護予防の取り組み

「おたっしゃ21」を切り口に介護予防の意識を高める

介護予防

QOLの向上

養護老人ホーム 吉祥寺老人ホーム

支援員リーダー 小泉 千加子

生活相談員 平林 圭太

東京都武蔵野市吉祥寺北町 2-9-2

TEL : 0422-20-0800

E-mail kjiikoizumi@kichijoji-home.com

FAX : 0422-20-0904

URL <http://www.kichijoji-home.com/>

今回の発表の施設
またはサービスの
概要

吉祥寺老人ホームは、全室個室 130 名定員です。平成6年開設。当初は都立施設としての公設民営として社会福祉法人至誠学舎東京が運営を行っていましたが、平成16年4月より法人立施設となりました。

＜ 取り組んだ課題 ＞

自立支援の観点をもとに効果的・効率的なプログラムを用いて、介護予防に取り組む事とした。
客観的な評価の必要から、効果測定方法を検討した。

＜ 具体的な取り組み ＞

- チームを作り、利用者のアセスメントをしていく
介護予防運動指導員・支援員・相談員
PT(体操講師)・エアロビインストラクター(体操講師)
- アセスメントには「おたっしゃ21」を実施
・「おたっしゃ21」とは、
2年後の老年症候群発生リスクを評価する
18項目の質問、3項目の運動機能測定からなるツール
・評価の内的妥当性と交絡要因の排除
- アセスメントは介護予防の必要性を理解してもらう為に、全利用者を一度実施し、その後グループ分けする
・「おたっしゃ21」参加し
A：ホーム内活動の介護予防に積極的な方
健康体操・転倒防止体操参加者
B：身体的には元気だが消極的で意欲の乏しい方
C：ホーム内クラブ活動不参加だが、外部で活動
- AとBの評価を定期的に実施し、比較をする事により、介護予防の効果を測定する
- 評価後のアンケートにより、介護予防への意識の向上、行動の変化等の確認と把握。それを元に担当職員による面接を行い、介護予防の重要性や効果、プログラムへの要望、検討を行う

＜ 活動の成果と評価 ＞

- 「おたっしゃ21」実施
2007年7月現在、入所者130名中61名実施
リスク無し：5名
リスクあり：56名
- 意識アンケート結果
回収率58%

介護予防として何か活動していた	37%
今まで介護予防していなかった	62.9%
「おたっしゃ21」後取り組んだ	62.9%
何もしていない	40.7%
介護予防の必要性を感じた	88.8%
理解しない	11.1%

「おたっしゃ21」を受けた利用者の介護予防への意識の向上と、プログラム等の参加につながった。

＜ 今後の課題 ＞

- 定期的な評価の継続。
- 常に情報を利用者伝えていかなければ、すぐに意識が低くなる。
- 介護予防の必要性に対して意識の底上げが難しい
- 意欲を引き出させるプログラムの検討・実行

＜ 参考資料など ＞

- 東京都老人総合研究所
「おたっしゃ21」について
<http://www.tmig.or.jp/kaigoyobou/index.html>